



HP「辻よし子と歩む会」で検索



「辻よし子と歩む会」

☎ 190-0154

あきる野市高尾 182-1 佐橋方

電話 & FAX : 042-596-4569

e-mail : kusasigi@nifty.com

共同代表 : 柏倉倫子・青木真知子

小さな声に耳をすまし、大きな力にひるまず！

問われる(株)オオバ（引田区画整理事業）の ずさんさと不誠実な態度

辻さんの一般質問を傍聴して非常に驚いた。引田の区画整理事業の業務をあきる野市から請け負っている(株)オオバのずさんさ、不誠実な態度には開いた口が塞がらない。このことをあきる野市民はほとんど知らないのではないだろうか。

自分の住んでいる所で区画整理が行われることになると、自分の土地の一部を供出したり、お金（清算金）を支払ったりしないといけないという。今回、5 年前に提示されていた清算金が今年 3 月大幅に増えることが明らかになって、地権者の間に衝撃が走っている。地権者 240 名の内、清算金が 10 万円以上増える人は 95 名に上っている。(株)オオバが計算根拠となる「指数」を間違っていたからで、地権者は不信感を募らせ、市の職員は説明に追われているという。

一方、市が(株)オオバに支払う委託料は総額 12.5 億円とされていたが、それが 2.5 億円も増えて 15 億円になるとのこと。契約時の「予定金額」とはなんだったのか。(株)オオバが請求すればそのまま市は支払わなければならないのか、どうも腑に落ちない。そして、今回の問題である。

辻さんはもともと引田の区画整理に反対していたので、区画整理事業の推移を厳しく見てきた。しかし、よくよく考えてみれば、賛成、反対関係なく、市の事業について委託業者がきちんと仕事をしているのかチェックするのは議員の役割である。むしろ、賛成した議員こそが責任を感じて先頭に立って追及すべきだと思うのだが、どうだろうか？ 今回の件については辻さんのみならず、議会全体で問題にするぐらいの気概を持って欲しい。

(T・K 草花在住)

本会議の一般質問の傍聴から

私が議会傍聴を始めたのは、約 3 年前の事です。傍聴する議員の数は次第に増えて、2024 年 3 月、6 月、9 月、12 月と 2025 年 3 月は全議員の傍聴。2025 年 6 月は、議員 18 人の傍聴をしました。

傍聴は、" 百聞は一見にしかず " と言うように、見た事は確かな事実であり、物事を見極める感覚として、とても役立つのです。

低レベルの一般質問を、短時間で済ませる事を常としている数名の議員は、他の議員が一般質問をしている際に、談笑、時にヤジを飛ばすのも常です。恐らく、自分の支持者は傍聴席にいない事を知っているのです。そのような議員を当選させる、市民の側の責任も問われるところです。

市民の生活に関わる多くの事が、議論される議会を傍聴する事は、市民の豊かな暮らしに直結しています。

そして、まともな議論もなく、多数派によって可決、実行された事案であっても、私はその中に個人として出来る事を見つけ、市に提案し、21 日のフレア五日市の植栽ワークショップの実現に、繋ぐ事が出来ました。今、フレアの施設の利用率アップの為に出来る事を思案中です。

(W・E 五日市在住)



排外主義と分断統治

この原稿を書いている 2025 年 7 月初旬は参院選が始まったところだ。テレビで「外国人政策」として各党の政策を比較していたが、与党や幾つかの政党が「違法外国人ゼロ」「日本人ファースト」といった排外主義的な政策を掲げていた。

物価高騰や景気の低迷、終わりの見えない世界の紛争など不安定な社会状況の中で、「行き過ぎた外国人優遇」や「外国人の増加による治安の悪化」が不安定化の一因だとして、主に SNS で根拠の無い「外国人問題」といった排外的な主張が見られるようになり、今般の参院選ではとうとう政党が政策として打ち出してきた。

排外主義、つまりバッシングやヘイトの対象は入れ替え可能だ。「外国人」だけでなく「女性」「在日」「高齢者」「LGBT」なども対象になっていて、いずれもマイノリティや声を上げにくい弱者だ。調べてみるとこれは古典的な権力者による統治手法でもある。人々を分断することで団結を妨げ、権力者への反発や抵抗を弱めることに繋がる。

排外的な考え方は私の周囲のいわゆる「ノンポリ」の知人から聞かれることもある。政治家が声高に主張し、マスコミや SNS が頻繁に取り上げることで「言っても良い」という「空気」を作り出していると思う。

“排外主義に同調すると、近い将来自分も「排除される側」になる可能性が高まります。排外主義者に力を持たせてはならない” との X の投稿があった。さて、参院選の結果はどうなっているか。

(I・A 瀬戸岡在住)

無党派
一人会派



辻よし子・プロフィール

1960 年生まれ。小さい頃から生き物が好きで高校時代は生物部に。大学で教育に関心を持ち、小学校教員を経て、タイ農村との教育交流活動を展開。1995 年よりあきる野市に暮らし、「川原で遊ぼう会」で環境保全活動に取り組む。原発事故を契機に仲間と市議選にチャレンジ。現在 10 年目。夫、次男、ネコ 1 匹と草花に暮らす。

「6・15 樺美智子 追悼の会」を今年もやりました

1960 年 6 月 15 日、安保条約改定に反対する学生のデモ隊が、国会構内に突入し、警官隊と衝突。その中で樺美智子^{かんばみちこ}さんは亡くなりました。大学 4 年生でした。

雨上がりの国会南門前には、今年も多くの人たちが早くから集まってきました。12 時半ごろから「声なき声の会」のみなさんの献花が始まり、「忘れまい 6・15」が歌われ、樺美智子さんの追悼が行われました。1 時に「9 条改憲阻止の会」の集会を始めました。発言は、あの安保闘争の日々をそれぞれの生涯史に引き寄せ、平和への決意が語られました。

私は 65 年前「平和と民主主義」の危機に心を痛める高校 3 年生でした。5 月 20 日の強行採決に憤り、樺美智子さんの死に心を揺さぶられ、生徒会で討論を重ね、安保闘争を必死で闘いました。幼い頃から、母が大阪大空襲の恐怖と悲惨さをよく語ってくれました。「戦争は、絶対にやったらあかん！」母の顔が浮かびます。

イスラエルがガザでの暴虐の上に、イランへの空爆を仕掛け、ロシアのウクライナへの軍事侵攻も激化しています。日米安保体制は強化され、沖縄・南西諸島のミサイル基地建設は着々と進められています。なんとしてでも日本を「戦前」にしてはなりません。世界中の戦争の即時中止を訴えます。

7 月 7 日の七夕の短冊です。「私の 9 人の孫と世界中の子どもたちが戦争の恐怖から自由になり、飢えと差別のない楽しい毎日を過ごせますように」。

(Y・N 淵上在住)

「辻よし子と歩む会」

会員募集中！

年会費：1,000 円（カンパ歓迎！）

郵便振替

加入者名 辻よし子と歩む会

口座番号 00140-9-430053

ゆうちょ銀行(店番)〇一九(ゼロイチキュウ)店(019)

当座 0430053

